

平成28年第9回栗原市教育委員会定例会会議録

1. 招集日時 平成28年9月28日(水) 午後4時00分

2. 招集場所 金成庁舎 201会議室

3. 出席委員

1番	笠間 八十公 委員	2番	佐々木 一彦 委員
3番	亀井 芳光 委員	4番	白鳥 正文 委員
5番	千葉 みどり 委員		

4. 説明のため出席した者

部長	佐藤 義郎
次長	鹿野 有三
次長	小野寺 一浩
教育総務課長	白鳥 嘉浩
学校教育課長	加藤 栄悦
社会教育課長	菅原 良昭
文化財保護課長	高橋 久悦
学校教育課主幹兼係長	菅原 晃

5. 本委員会の書記は次のとおりである

教育総務課長補佐 白鳥 明美

6. 開 会

午後4時00分

教育総務課長 ただいまから平成28年第9回栗原市教育委員会定例会を開会いたします。

一同礼。 御着席願います。

本日は、委員5名の出席でございます。それでは開会の挨拶を教育委員長よりいただき、その後、教育委員長の進行のもとに進めていただきますので、よろしく願います。

7. あいさつ

佐々木委員長 商店の店先には果物が並べられ、自然界は、実りの秋本番となっています。田んぼでは、この所のぐずついた天気刈り取りが遅れています。数年前に一気に下げられた米の価格は、今年は少しは上がりそうですが、収穫される米が、品質、収量共によく、豊作の年になるようにと思っています。

市内幼稚園や小中学校では、第1学期のまとめの時期を迎え、園児、児童・生徒と教職員とが一緒に頑張っている姿が見られています。

さて、次期学習指導要領の改訂に向けた作業が進んでいます。今後の学校教育の新たな方向が示されることに期待感があります。過日、中央教育審議会審議のまとめ(素案)が公表されましたが、その中では、「社会に開かれた教育課程」、「アクティブ・ラーニングの視点からの学習課程の改善」などがキーワードとして報道されています。

学習指導要領改訂は、ずっと10年間隔位で行われてきましたが、改定について思い返すこ

とがあります。60年代のアメリカで、「子どもの自主性を尊重しろ」、「学力は知識よりも実践だ」などという教育論が流行し、「教育の人間化」が叫ばれ自由学校が賛美されました。行政はこの流れを受けて教育課程を改め、結果として、学校の荒廃や学力の急激な低下を招きました。80年代に入ってから教育長官が報告書「危機に立つ国家」を発表し、深刻な事態を招いた教育路線からの転換を図りました。同じ頃、日本は、アメリカ等の潮流や自国の知育偏重、詰め込み教育批判を受けてゆとり教育を導入し、その後はアメリカと似たような軌跡をたどりました。

その反省を受けて平成20年、21年に改訂されたのが、現行学習指導要領です。生きる力の育成を一層重視する観点から見直され、特に、方向転換への圧力となったのが学力低下で、授業時数も増やすことになりました。

この時の中央教育審議会審議のまとめには、これまでの失敗は、学習指導要領の「自ら学び自ら考える力」という理念について学校現場が誤解したためにゆとり偏重教育になったという総括がされました。

これについては、学校が誤解したのならなぜ早期に是正しなかったのかとか、教員が皆同じように誤解したならばどうしてそのような誘導をしたのか、その要因はどこにあるのかなどの意見が多く出されました。

宮藤官九郎さんが、ゆとり世代をテーマにしたドラマを書いたことが話題になっていますが、ゆとり教育の問題は、一般の認識として行き渡っています。ゆとり教育は、本来、基礎的な学力を身につけた上で応用力を発揮させることをねらったものでした。

学校では、教員が、説明会に参加したり校内で研修したりして学習指導要領についての理解を深め、子どもの自主性を育てる努力や新しい教科としての生活科の授業づくりなどに真摯に取り組みました。特に、学習指導は、各教科の授業時数が減らされた中で従前の時数に匹敵する学力を身に付けさせようと頑張る姿が見られました。

知育偏重への批判からスタートした前々回の改訂が、生きる力の育成の取り組みの中で学力低下という結果を残すことになったことには、残念な思いがいたします。

前回改定時の平成20年に読売新聞社が日本人の教育観に関する世論調査を実施しました。それによると、戦後日本の経済発展は日本人の高い教育水準に支えられてきたと評価する人が8割でした。これは、日本人の戦後教育に対する自負心の表れだと思います。調査の項目毎に見ると、平等な教育の機会を保証してきたことや基礎的な学力を身に付けさせてきたこととの評価も高い結果となっています。

日本の公教育は、明治5年の学制発布以来、一定の幅の中で振り子の振れを繰り返しながら止まらずに前に進み続けて今日に至っていると私は考えています。詰め込み教育もゆとり教育もどちらも長所があり、課題もありました。それらの延長上にある今回の改訂については、これまでの反省を生かせるように、審議会から始まって学校現場での実践に至るまで、文部科学省のリーダーシップの下で周到な取り組みがなされるよう期待します。

あと2日で9月が終わりますが、教育部管理職の皆さんには、年度の前半、本当にご苦労様でした。後半も激務が続きます。健康には一層留意されご勤務されますようお願いいたします。

8. 前回教育委員会会議録の承認

佐々木委員長 それでは、日程1、前回教育委員会会議録の承認について、お諮りします。事務局に内容の説明を求めます。

事務局 平成28年8月31日、若柳総合支所会議室において開催されました平成28年第8回栗原市教育委員会定例会でございますが、ご審議いただいた議案は「議案第52号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書の提出について」を含む4議案でございますが、議案第52号については学識経験者の意見欄を確認したうえで承認、他の議案については全て承認可決されました。

以上でございます。

佐々木委員長 説明が終わりました。この内容について、ご質問等はありませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、前回教育委員会会議録は説明のとおり承認することとします。

9. 教育委員会会議録署名委員の指名

佐々木委員長 日程2、教育委員会会議録署名委員の指名を行います。

例により議長から指名します。

1番の笠間委員と5番の千葉委員にお願いいたします。

10. 教育長報告

佐々木委員長 日程3、教育長報告を行います。

教育長から報告をお願いします。

亀井教育長 本日の会議は議会ということで4時からと遅い時間になりましたが、委員の皆様にはお集まりいただきまして感謝申し上げます。

それでは、一般事務報告をさせていただきます。8月定例会以降の、私に対応した行事は別紙資料がございますのでご覧いただきたいと思います。その中で、いくつかのことを列記しましたが、いろいろな形でご参加、ご協力いただき、心から感謝申し上げます。この中で、瀬峰合宿通学のことを紹介させていただきます。昨日から30日まで、瀬峰小学校の5、6年生の子どもたちが瀬峰公民館に寝泊りをして、そこから学校に通っています。食事や布団の準備も保護者の協力をもらいながら自分たちで行います。「瀬峰っ子を育てる会」が中心になって、教育センターの職員も対応しておりますが、15回以上続く事業です。子どもの成長に非常に役立つことと思いますので紹介させていただきました。昨日ちょっと見てきましたが、大変子どもたちは張り切っている様子でございました。

次に、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書でございますが、前回、委員長さんから指摘事項がございまして、大学の先生の確認を取りながら修正をして、本日出させていただきますので、ご了解をいただきたいと思います。なお、これにつきましては、今後、市長、副市長等に報告をしまして、議会に提出するという運びになりますので、よろしくをお願いいたします。

次に、市内児童生徒及び教職員の動向といたしましては、10月7日に1学期の終了式を迎え、13日が2学期の始業式になります。これまで9月に実施していた陸上大会も春の大会に一本化しましたので、勉強のほうに集中できる環境が出来てきたかと思えます。自ら学ぶ習慣の育成や家庭学習時間の確保、進路・進学・就学指導の徹底を指示していきたいと考えているところでございます。市の就学指導委員会は記載の日程で開かれます。9月30日の1回目の就学指導委員会が終わった後、地区毎に専門委員会を開き、その結果に基づいて11月14日にまた就学指導委員会を開き、そこで特別支援学校や特別支援学級等の判定をしていただく会

議でございます。

それから、11月に入りますと、幼稚園及び預かり保育、放課後児童クラブ等の申込が始まり、これから周知をしてまいります。なお、中学校につきましては、間もなく私立学校の入試等が入ってきますし、或いは公立の前期試験に向けての進路指導等で忙しくなってきました。

児童生徒の様子でございますが、8月末以来あまり変化はございません。不登校は小学校で4名、中学校で22名ほどで推移しております。事故といたしましては、車との接触事故や、おじいさんが軽トラックで児童を送迎中、脇から出てきた車に追突され、おじいさんと子どもが骨折するという事故がありました。また、ある学校では、先生の机の中にあったマッチをいたずらするということがあったようで、やはり職員室だけでなく、教室の机の中の管理もきちんとするよう指示していきたいと思っております。

教職員関係では、現在、病気で休んでいる教頭先生が2人ほどおります。また、今日は、事務長さんについても病休の連絡がありました。健康管理には十分気を付けるよう常日頃話しているところですが、定期的な健康診断の徹底やメンタルヘルスについても指導が必要だと思っております。

不祥事関係につきましては、生徒への暴言があり、これについては校長からきつく指導してもらいました。また、一時停止違反やスピード違反等ありました。交通違反は確信犯でありますので意識を持った行動をしてほしいと思います。市職員の場合は、必ず口頭注意や文書注意があります。今月につきましては、口頭注意が3人、文書注意が1人でした。

次に、9月定例議会、今は最中ではありますが、これについては後で部長から報告があると思っておりますので割愛させていただきます。

その他といたしまして、前にも紹介しましたが、県教委主催の「算数チャレンジ大会2016」には栗原市代表として築館小学校チームが出場しました。上位の方の成績だったらしく、頑張ってくれたなとうれしく思っております。

それから、高等学校駅伝競走選手権大会が10月23日に行われますが、古川工業高校、仙台育英学園のチームがウエットランドで合宿をしながら練習をするということも聞いております。高校の選手も頑張っているようでございます。

それから、ハーフマラソン大会ですが、現在の申込は1504人で、昨年より約400人多い申込で、非常にうれしく思っております。企業からの協力ですが、大塚ウェルネス、ヤマザキ製パン、東北イノアック若柳から、飲料やパン、スポンジの提供を受けることとなりましたので紹介させていただきます。当初、上位成績選手の台北ハーフマラソン大会への参加を考えておりましたが、初めてのことでありますので、今年度は市民ランナーの中から男女各1名を選んで参加するということが計画をしております。栗原市と台湾、非常に交流が盛んでありますのでそういう形で派遣をしていきたいと思っております。なお、それらも含めて、市長以下職員数名、議長、各常任委員会委員長を交えまして10月16日から20日まで台湾を訪問する予定となっておりますのでご紹介させていただきます。

それから、私ですが、10月1日、2日と岐阜県大垣市に行ってまいります。栗原市と大垣市は災害協定を結んでいるだけでなく、俳句協会が行ったり来たりして毎年交流を行っております。奥の細道に関連する市町村を集めて「奥の細道全国サミット」というものがございまして、その会員にならないかとお誘いを受けたところであります。今年はオブザーバーとして参加するということが、私と担当者が行ってまいります。来年から正式に加入するということが、さらに大垣市との交流を深めていきたいと思っておりますのでございます。

私からは以上でございます。

佐々木委員長 只今の一般事務報告についてのご質問はございませんか。

千葉委員 放課後児童クラブのことが出たのでお話ししたいと思います。今現在志波姫で放課後児童クラブを利用している父母の方から、建物が非常に狭いという話が聞かれます。天気のいい日は外で遊ぶので問題はないそうですが、雨の日とかは建物の中でギュッとなってしまい、ある程度1人当たりのスペースは決まっているという話は聞いていますが、子どもたちはじっとしていることが少ないので、走り回ったりして窮屈だそうです。伸び伸びした環境で運営することは出来ないのでしょうか。

亀井教育長 詳細は社会教育課長からお話しさせますが、今初めて聞きました。今年から場所を移して、前の児童クラブと比べるとかなり広がっているわけですので、ちょっと驚きました。そういう声があるというのはこちらでも調査させていただきます。ただ、場所的には、さらに大きくするとなかなか難しいところもあります。

社会教育課長 今回の件につきましては、運営をお願いしている社会福祉協議会と毎月打合せを行っていますが、初めて聞いたところでもあります。志波姫につきましては、定員が110名で4月末現在106名と定員にほぼ近い状況になっております。スペース的には基準をクリアしていると思いますが、中のロッカーの配置とかで若干狭くなっているかもしれませんので、現場を確認して出来るだけ対応していきたいと思っております。

佐々木委員長 他にありますか。

笠間委員 児童生徒の状況は8月末と同じという話でしたが、授業抜け出しの改善はまだ認めてもらえないのでしょうか。

小野寺次長 ちょうど、指導主事学校訪問がございまして、実際に私も見てまいりました。授業抜け出しが非常に多いということで、心配して行ったわけですが、その時間については落ち着いて抜け出す子どももなく授業を行っておりました。ただ、朝方とか休み明けに行くと、ざわつきや、何名かの子どもたちにADHDの診断があるので、中には静かなところで勉強したいと部屋を移って勉強している子どもも居ります。今後とも推移を見守っていきたいと思っております。学校では、習熟度別に分けたり、ひとつの教室で補助員さんを入れて3人位で指導という体制を取ってもらい、授業としては大分落ち着いた形は見られてきました。

亀井教育長 補助員の方が大変すばらしいという話を聞きました。親身になって見てくれているようでその効果も出たのかなと思っております。ただ、来年度につきましてはADHDと把握している子ども居るようですので、就学指導委員会にかけて別教室で勉強する方向に行く子どもも出てくるのかなということで、家庭と相談しているケースもあるようでございます。徐々に良くなってきているのではないかと思います。

佐々木委員長 他に質問ございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ないようですので、日程3、教育長報告を終わります。

11. 専決処分報告

佐々木委員長 日程4、専決処分報告、(1)平成28年第3回栗原市議会定例会に提案する教育関係議案に対する意見についてを上程します。内容の説明を求めます。教育総務課長。

教育総務課長 議案書1ページをご覧ください。平成28年第3回栗原市議会定例会に提案された教育関係議案について、市長から意見を求められましたが、平成28年9月5日に異議がない旨専決処

分したものです。

専決処分報告説明資料（１）①をご覧ください。議案は３件で、議案第７８号、平成２８年度栗原市一般会計補正予算（第２号）、議案第９０号、栗原市立学校設置条例の一部を改正する条例について、認定第１号、平成２７年度栗原市一般会計歳入歳出決算認定について、です。

最初に、議案第７８号、平成２８年度栗原市一般会計補正予算（第２号）についてですが、資料の８ページをご覧ください。歳出に関する教育費といたしましては、５４億８千６８４万７千円に８０３万６千円を追加し、５４億９千４８８万３千円とするものでございます。主なものは、図書館ネットワークシステムの整備、瀬峰トレーニングセンターアリーナの天井鉄骨修繕工事などです。詳細につきましては、専決処分報告説明資料（１）②の９ページ以降をご覧ください。

次に、専決処分報告説明資料（１）①の９ページをご覧ください。議案第９０号、栗原市立学校設置条例の一部を改正する条例についてであります。栗原市立学校再編計画に基づき推進してまいりました結果、栗原市立築館小学校と栗原市立玉沢小学校を再編し、栗原市立築館小学校として、新たに平成２９年４月１日から開校することに伴い、改正を行うものであります。

次に、専決処分報告説明資料（１）③をご覧ください。認定第１号、平成２７年度栗原市一般会計歳入歳出決算認定についてであります。歳入につきましては、１から２ページになります。各種負担金・使用料・補助金及び諸収入等で確保いたしました。歳出につきましては、教育費として予算額８２億３千１３４万２千円に対して、支出済額が７６億６千１９１万８千円となったものでございます。平成２６年度と比べると、栗駒・志波姫幼保一体施設の整備、北部学校給食センターの建設などで、支出額が約１４億円増加しております。詳細につきましては、資料３ 専決処分報告説明資料（１）③６ページ以降をご覧ください。

以上、平成２８年第３回栗原市議会定例会に提案しました教育関係議案の説明を終わらせていただきます。

佐々木委員長 説明が終わりました。ご質問ありませんか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 ないようですので、（２）栗原市立学校職員の人事についてに入ります。

（人事案件のため秘密会）

１２．議事

佐々木委員長 お諮りします。個人情報であります、日程５、議案第５６号、要保護及び準要保護児童生徒の認定については秘密会としてよろしいですか。

「異議なし」の声あり

佐々木委員長 ご異議なしと認め、日程５については秘密会とします。

ここで、関係職員以外の退席のため暫時休憩します。

１３．その他

（１）各課報告

佐々木委員長 本日の日程が終了しましたので、これより各課報告事項に入ります。社会教育課長。

社会教育課長 定例会資料をご覧ください。最初に、ジャズコラボくりはら２０１６についてであります。

今年も、大山日出男氏と市内小・中学生、高校生との合同演奏会が10月2日、日曜日に栗原文化会館で開催されます。開演が午後3時となっております。委員の皆様には、整理券をお配りいたしましたので、ご都合がつけば是非鑑賞いただければと思います。

次に、劇団四季のファミリーミュージカルです。有料となりますが、10月2日、午後4時開演で、若柳総合文化センターでございます。若干席に余裕がありますので、よろしく願いいたします。

次に、ジュニア・リーダー初級研修会についてであります。10月8日、土曜日から9日、日曜日の1泊2日で、花山青少年自然の家で行われます。内容については記載のとおりであります。約20名が参加する予定であります。

次に、大垣市との文化交流会についてであります。今年も俳句を通じた交流会を予定してございまして、10月16日、日曜日、17日、月曜日まで、栗原市俳句協会の会員2名と職員1名が参加予定でありましたが、先日の日曜日に、一緒に参加する予定だった俳句協会の会長さんをご逝去されましたので、現在、俳句協会と調整中であります。

次に、第13回図書館まつりについてであります。栗原市立図書館で、一般市民を対象に、10月22日、土曜日、午前9時から午後5時まで行われます。内容は記載のとおりであります。既に、各総合支所、教育センター、小学校にチラシを配布して周知をしているところであります。

次に、高校駅伝宮城県予選会が、10月23日、日曜日でございます。是非、応援をよろしくお願いいたします。

最後に、ジュニアリーダーフェスティバルですが、10月30日、日曜日、午後1時から4時まで、教育研究センター体育館で行われます。対象が小学校1年生から6年生までということで、チラシを小学校に配布しながら周知をしているところであります。

以上でございます。

佐々木委員長 社会教育課関係の説明について、ご質問ございますか。

「なし」の声あり

佐々木委員長 では、次に学校教育課長。

学校教育課長 平成28年度全国学力・学習状況調査及び平成28年度宮城県学力・学習状況調査結果について、学校教育課主幹兼指導係長兼指導主事の菅原から説明いたさせます。

菅原主幹兼係長 それでは最初に、「平成28年度全国学力・学習状況調査結果について【速報値】」の資料をご覧くださいと思います。小学校6年生と中学校3年生を対象に、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学を行っております。その他に、生活習慣や学習時間に関する質問紙というのは小・中共通で行っております。その今年度の結果ですが、小学校を見ますと、全ての科目で全国平均を下回っております。ただ、平成27年度と比較しますと、それぞれ、どの科目においても全国との差は小さくなっているという結果になっています。中学校も同様に、全ての科目で全国平均を下回っております。特に、国語の活用問題、数学は基礎、活用問題について、全国との差が大きくなっています。中学校においては平成24年度の調査から全国の差が広がっていくというマイナスの傾向になっております。生活習慣や学習時間に関する調査を見ましては、少しずつではありますが、家庭での学習時間等は改善傾向にあります。ただ、栗原市では、小学校におきましてはテレビやゲームの視聴時間が課題として挙げられます。今後の対策としまして、各学校において今回の結果の分析を行い、どういう力を高めたいのか、そのためにはどういう取り組みをするのか、教職員全体で話し合いを持って、学校全体で進めていく形

を取りたいと考えております。それから、時間的には少しずつ良くなってきている家庭学習についても、内容面を充実させていくことを、学校にお願いしながら進めていきたいと思っております。それから、部活動と学習の兼ね合いとして、部活動の時間、学習の時間の確保の観点から、土日いずれか1日は休養日にして、体をリフレッシュさせること、学習にしっかり取り組める体制を整えることを勧めていきたいと考えております。

次に、宮城県学力・学習状況調査結果につきましては、小学校5年生と中学校2年生を対象に行っております。小学校におきましては、国語、算数、中学校におきましては、国語、数学、英語、それから全国と同様に生活習慣や学習時間に関する質問紙を行っております。小学校につきましては、国語では基礎問題、応用問題共に県平均を上回っており、前年と比べると伸びてきております。反面、算数については、県平均を下回り、少しずつ県平均との差が開いてきています。中学校につきましては、全科目で県平均を下回っております。特に、英語の活用問題が一番大きく差が開いております。27年度と比べると全ての科目で差は縮まっていますが、県平均に届きませんでした。全国の結果と同じように、テレビやゲームの視聴時間は、5年生では同じように課題になっています。中学校におきましては、家庭での学習時間1時間以上する割合で比べますと、県平均を上回っていますので、今後もこの傾向を続けていきたいと思っております。今後の対策については、全国と同じように、学校挙げて取り組んでいきたいと思っております。

次に、学力向上対策プロジェクト事業についてですが、ここ数年、全国及び県平均を下回る傾向が続いている、開きが少しずつ大きくなっているということで、大変危惧しております。現状については、全国・県学力状況調査の結果を見まして話したとおりです。対策については、学力向上検討委員会というものを、教育委員会だけでなく、校長会と各小・中学校の先生方の意見を取り入れながら立ち上げて、改善策等を話し合い、学校現場とのミスマッチングが無いようにしていきたいと考えております。大きな柱としては、授業づくりの視点、家庭学習指導の視点、放課後や朝の時間の活用等の視点から考えていきたいと思っております。次年度からスタートさせたいと考えております。

以上で説明を終わります。

佐々木委員長
学校教育課長

学校教育課長。

それでは、次に、平成28年度栗原市中学校新人体育大会成績一覧表をご覧ください。9月24日、25日に開催されました市の新人大会の結果でございます。ご覧のような結果となっております。それぞれ上位の学校、チーム等が県大会に向けて取り組んでいるところでございます。昨年と比べ、開催する種目が減っているところでございます。

以上報告申し上げます。

佐々木委員長
千葉委員

学校教育課関係で質問はございませんか。

学力・学習状況調査の今後の対策で、今度、部活動を土日いずれか1日休みにするということですが、実施はいつ頃を予定していますか。

学校教育課長

土日いずれかは休養日設定にするというのは、従来からあるもので、毎月開催されている校長会議の際にも、部活動週1回は休養日を設けましょうということで、教育長から各学校に指示しているところでございますが、なかなか、ご父兄の方々の、上位に進みたいという要望がございまして、実施している学校と、そうでない学校があるのが現状でございます。それから、学校によっては、テスト前は部活動禁止期間として実施しているところもございます。

亀井教育長

補足します。平成19年だったと思っておりますが、各学校へ教育委員会の方針として、週1回は

休みましょうということを知っていますが、守られていないところが多いようです。やはり、保護者の思い等あるようです。学力向上のためには、学校だけでは出来ない、保護者の協力がなければ絶対出来ないと思います。現実の結果を出すことによって、危機感が出てこない、なかなか効果が上がらないと思います。学校によっては、土日休まないで、月曜日休みにしているところもあります。土日休まないから月曜日は疲れ切っているということもあります。その辺、やはり、是正していかないと難しい気がします。

11月20日の日曜日には川島隆太先生を文化会館に招いて、保護者を交えた教育講演会を開きます。事前に、保護者の方々に声掛けをして、多くの方々が参加してほしいと思っています。

笠間委員 今おっしゃられた、保護者の方々が上位を狙っているという話ですが、そういう保護者の方は、勉強より部活が大事と考えていらっしゃるのですか。もうひとつは、学校では、講演会を出来るだけ保護者の方に聴いてもらいたいとして個人面談を後にして、講演会を間に挟んでも、その間お茶のみに行ったりとか、そういう保護者の方が結構いらっしゃるんですけど、聴いていただきたいところですが、その辺難しいのかなと思います。まず、保護者の考え方が実際どうなのかなと思います。

亀井教育長 その辺、やはり、保護者へアンケート等取ってみる必要があるのかなという気はします。文武両道で、両方出来る子もいますが、11月頃になると進学のために慌てて塾に走らせている親もかなりいると聞いております。やはり、学校は勉強するところ、学力を保證するのが第一の目的ですので、保護者の意識も少し変えていかなければいけないかもしれません。

白鳥委員 部活に関連して、夜連もやっているようです。それも、ある程度規制をかけていかないと、学校とは別に親が責任を持ってやっているのですが、今のような状況が続くのであれば、夜連もある程度親と話をし、出来るだけ勉強の時間を取るような工夫も必要かと思えます。週1回の休みは当然必要ですが、例えば中体連1か月前は解禁のように、メリハリをつけていくことも大切だと思います。

佐々木委員長 部活動は大切な教育活動です。だからこそ計画的にしっかり取り組んでいく必要があります。やはり「週に1日は休みなさい」という通達が崩壊しているかどうか、調査した方がいいと思います。中には、2日の内の1日は育成会が指導するという事で土日の部活を行う所もあると聞きます。大会参加や遠征などの時は、子どもは疲れて月曜日は大変だということもあるので、実態を正しく報告してもらおうような調査をして、それを明らかにして問題点を整理したらどうかと思えます。保護者の方たちの意見等も聞きながらですが、2日に1回は休むというのは県や国の流れですので、そういうのは、親の「勝たせたい」という思いよりも優先して説得することだろうと思えます。

亀井教育長 もうひとつは、部外指導者が日中指導できないためどうしても夜になってしまうという傾向が無きにしもあらずです。休みを設定するのはその方々の協力も得ないとだめですね。

佐々木委員長 今の実態では部活の休みが守られていない学校等の中学生は勉強する時間がなかなか取れませんし、思わしくない学力の状況も当然の結果かもしれません。疲労が溜まると、授業への集中力も続きません。やはり、実態調査をして結果を明らかにし、学力との関係も明示した方がいいのではないかと思います。

もうひとつの、学力向上講演会ですが、今度初めて一般の人も入れるということで、休日にやるんですね。保護者への周知の方法は何か考えているのですか。

学校教育課長 今回11月20日に予定しております教育講演会ですが、PTA連合会が毎年実施しており

ます地区セミナーという講演会事業と同時開催ということで、冠をふたつ付けた形で行います。市P連に対しまして動員要請もかけておりますし、当日授業参観を計画している学校もございますので、そういったことで、多くの保護者の参加を見込んでいます。

佐々木委員長

広報活動は大事なので、特に、学校から保護者に伝えてもらうよう、周知の方法を徹底して多くの人に聴いていただければいいと思います。

佐々木委員長

次に、教育総務課長

教育総務課長

教育長報告でもございましたが、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価につきまして、宮城教育大学永井先生のご了解を得て、9ページの学識経験者の意見について訂正をさせていただきました。これをもちまして、議会の方に提出させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(2) その他

佐々木委員長

各課報告が終わりました。その他に入ります。

教育部長

私のほうから議会の状況についてお話しさせていただきます。

9月13日から10月6日まで、9月定例議会が開催されておりますが、先週から今週の26日まで、一般質問が終了いたしました。今回は全部で20名の議員から一般質問が出されました。教育委員会に関係する質問は9名でございます。その内容について、若干お話しさせていただきます。まずひとつは、スポーツ、レクリエーション環境の整備充実についてということで、築館陸上競技場の周辺道路の整備や設備の整備、市立小中学校の体育館や武道館に網戸等の設置をすべきであるというご質問をいただきました。それから、教育環境の整備充実ということで、県立築館高校に看護科の新設を強く求めてはどうかといった提言もありました。奨学資金貸付金の貸し付け実績、或いは、給付型奨学資金制度を県、国に働きかけてほしいというご質問、体育施設、文化施設については指定管理で委託をしている施設が多いのですが、指定管理の評価、市民目線で評価して市民に喜ばれる施設にしてほしいというご質問、子どもの貧困対策ということで、いじめ、不登校と貧困の因果関係があるのではないかと、或いは、奨学金制度があるが、その利用実態と返済状況、また、この貧困対策で文科省で子どもの貧困対策に対する大綱を示していますが、その内容は学校が果たす役割が非常に大きい、教育委員会としてどう支援していくのかといったご質問もございました。あとは、スポーツ施設全般について、既存施設をきちんと活用しなさい、それについては、改修箇所をきちんと把握をしたうえで改修計画を作って整備をして市民に喜ばれる施設にしてほしいというご質問、それから、栗原文化会館の障害者用駐車場が2台しかなく、区画が一般の駐車場と同じで狭いので、広くし、台数も増やすべきというご質問もありました。給食費の無料化や小中学校の普通教室に全てエアコンを設置するべきというようなご質問もございました。いずれ、丁寧にお答えをした中で、今回の9月の補正予算に既に盛り込んでいる件もございますし、或いは、来年度の当初予算や事務事業に反映していくものも出てきますので、真摯に対応していきたいと思っております。本日は常任委員会がございまして、先ほど教育総務課長が説明いたしました、条例改正と補正予算について、委員会の採決では、可ということで、明日の本会議で採決になります。今週の金曜日から10月5日までは決算特別委員会が開催されまして、教育部関係は、10月4日、火曜日に審査を受けることとなります。10月6日本会議があり、閉会ということになります。議員さんの声は市民の声ということで、きちんと対応していきたいと考えております。

以上でございます。

佐々木委員長 以上で各課報告及びその他を終了いたします。

14. 閉会

教育総務課長 以上をもちまして、平成28年第9回栗原市教育委員会定例会を閉会致します。

午後5時35分

15. 本委員会の議決の次第は次のとおりである。

議案第56号 要保護及び準要保護児童生徒の認定について

この会議録は書記が作成したものであるが、その内容の正確なることを証するためここに署名する。

平成28年10月26日

会議録署名委員 _____

// _____